



社民党党首選挙



新党首・又市征治さん

社民党は2月24・25日に開催の社民党定期全国大会に向け党首選挙を行った。しかし、他に立候補者がなく、規則により又市氏が当選、全国大会で承認手続きとなる。党首選对本部長・宮田好夫

1月12日の告示では立候補者がなく、再告示という異常な事態となった。まさに党の危機的事態を受けて全国の党組織でも様々な努力がなされ、現国会議員や組織などで協議を重ねられ、最終的に又市征治参院議員・幹事長が表明、

新春岡山社会文化会館講座

強い寒波で雪もちらつく1月28日、岡山社会文化会館講座を開催し、新春岡山社会文化会館講座を開く。講師は、福山真劫氏が「安倍改憲共同代表」への課題を語った。

改憲発議阻止でまもなく、岡山県連合の宮田代表は、「平和・人権が数の力で押し切られ、国民に背を向けた暴走政治の総仕上げともいえる改憲が焦点に。改憲発議阻止の「一歩に」と挨拶。市民野党共闘の高井たかし議員も「改憲発議阻止を頑張る」と決意表明。*



戦いに無関心であることは安倍政権の共犯、加害者である」と厳しく指摘した。「今年が節目の年、9条改憲に国民の多くが反対。街頭宣伝だけでなく3000万署名を一軒一軒回ろう。頑張れば改憲発議は阻止できる」と訴えた。社民党や野党・市民の行動への期待に応えることを確認した。文責・事務局

ブロック議員団会議



- ### 党県連合活動日誌
- 1/4 党県連合仕事はじめ
 - 1/6 国労旗開き
 - 1/10 全国一般岡山・私鉄県協 旗開き
 - 1/13 部落解放同盟旗開き
 - 1/14 岡山地区労、朝鮮総連 旗開き
 - 1/15 井原支部会議
 - 1/19 総がかり(さんすて前)
 - 1/22 1・2区党員会議
 - 1/23 岡山市平和推進協議会(武本)
 - 1/24 党定例街宣・マツキヨ前
 - 1/25~26 党中国ブロック議員団総会・研修会弓之町・時事問題懇話会
 - 1/27 JR貨物労組旗開き
 - 1/28 新春・岡山社会文化会館講座(旗開き)
 - 1/30 部落解放共闘幹事会(宮田・武本)

社民党中国ブロック自治体議員団会議が1月25・26日、岡山で開催、事務局の岡山を含め30名が参加した。25日は総会と2つのテーマで研修。宮田議長(岡山・高梁市議)の進行で、冒頭「解散総選挙で島根2区から立候補の福原氏と県連合に敬意」の言葉を述べ、続いて武本事務局長から一年間の総括と次の方針など提案、確認し、各県報告で交流、情報交換した。研修は、①「働き方改革と学校現場の現状」県教組・河村氏、②「公共交通の

現状と課題」私鉄中国・有吉氏から提起を受けて活発に質問が交わされ、懇親会では自己紹介など交流を深めた。26日のフィールドワークは「長島愛生園歴史館」でハンセン病と人権について見学、研修した。(詳細裏面)



フアリのパークなどで人気の白いライオンは、野生の原野では目立つため獲物に近づきにくい。相手が鋭いというところも、生息が逆転する。川に入れば白い熊は、川の中から鮭目線で見ると、空の背景と重なって鮭を狙う熊を見つけにくい。白い熊に気づかない鮭は捕まえやすく、多くの鮭を食べることができるといえる。鮭目線ではないが「ものを見る」とき、どの立場から見ると、双方でちがってくるのは自然界の話だけではない。▼戦国時代などは、兵力の中心は農民だった。勝ち戦なら「乱盗り」といつて負け組みからの略奪が普通とされた。「農民は、戦の最大の被害者である」ともに加害者」にもなった(朝日1/13憲法季評)▼自衛隊を憲法に明記することは現状追認だけに止まらない。現行9条の歯止めは死文化し、自衛隊を加害者にする▼真に平和の立ち位置がどうあるべきかが問われている。(の)

最大の寒波が列島を襲う1月19日総がかり街宣につづき、24日党定例街宣(写真)と連日の街頭行動冷たさにマイクを持つ手を替えながら、武本幹事長が「9条に自衛隊を書くことの本当の狙いは9条の死文化」と訴え、8人が参加した。



定例学習・読者会

「新報」読者会
2月13日(第2火) 18時
弓之町「時事問題懇話会」
2月23日(月末金) 18時
※聴きたい・話したい人歓迎
いずれも岡山社会文化会館

ご案内

- 2/3 総がかりプラスタ 12:30マツキヨ 2/7 佐与谷川訴訟公判 11:00 岡山地裁
- 2/11日本原基地撤去集会 現地: 奈義町11~12時 参加手段は関係者と調整
- 2/17 14:30~ 私たちは戦争を許さない 講師 伊藤 真 岡山勤労者福祉センター
- 2/19 18:00~ ストップ戦争法総がかり 岡山駅西口 さんすて前 総がかり行動岡山実行委
- 2/24~25 社民党全国大会(東京) 県代表・代議員・女性代表3名参加